

## 前回審議会での議事（要点整理）

令和 7 年 7 月 3 日（木）開催の播磨町学校給食審議会（第 1 回）において審議を開始した「学校給食費の額の妥当性について」の議事の要点は、概ね次のとおりです。

・食料物価指数が上昇しており、牛乳・米の価格も上昇している。それに伴い副食費が抑えられる結果となっている。やはり副食（おかずやデザート）が給食の大きな魅力でもあるので、栄養バランス等も考えるとそこはあまり質を下げてほしくないと思う。

・食材費が高騰している中で、給食費の全てを保護者負担金だけで賄うのは難しくなってきた。給食にもっと地元の食材を活用し、そこへ公的な補助を行うなどしていただければ給食費を抑えることができるのではないかと思う。

・令和 5 年度に給食費が増額改定されて以降 3 年目ということで、牛乳・米の価格がこの 3 年間で大幅に上昇したので、令和 7 年度は副食費がかなり圧迫されてきている。現在は給食に牛肉を提供できていなかったり、魚の切り身を小さくしたり、なるべく安価な食材を使用したりしながら、なんとか献立を工夫してやりくりしている状況である。反対に令和 5 年度は副食費にかけられる予算が充実していたので、給食の量が多くなり過ぎてしまい、残食が増えてしまった。

・保護者の意見としては、給食費は安ければ安いほど助かるというのが本音ではあるが、これだけの物価高の状況があるので、少しぐらいの値上げは致し方ないと思う。

・現況の給食費では牛肉を提供することが難しいという話だったが、数年前に給食で牛肉が出た時に子ども達はとても喜んでいて、そのような印象に残るサブライズ食材を公費で負担していただけないかと思う。給食費のこれ以上の公費負担が難しいのであれば、保護者負担を 1 食 50 円以内ぐらいなら増額しても構わないので、給食の質は落とさないでほしい。

・子どもが小学校に入学したばかりだが、給食費がそれほど高いと感じたことはない。子どもは牛肉でも豚肉でもこだわりはないと思うので、無理に牛肉を出そうとしてくれなくてもいいのではないか。現状維持で充分だと思う。給食費を増額することで、一部の保護者から理解を得られないことが心配。

・他市町からのアンケート結果によると、給食費の完全無償化・一部公費負担を実施している市町も多い。物価高騰の状況からすると、給食費の増額は致し方ないと思われるが、播磨町も保護者の負担軽減の観点から、増額分は公費負担というものを検討してもらえないか。